

(令和2年刊行)

ひらね119

(消防年報 概要版)



枚方寝屋川消防組合



その火事を 防ぐあなたに 金メダル

【2020年度全国統一防火標語】

「ひらね119」は、火災、救急、救助の活動をはじめとする消防の仕事を市民の皆さんにご理解いただくために、消防年報のダイジェスト版として編集したものです。本書が消防行政をご理解いただく一助になれば幸いです。

※なお、日付のないデータは、令和元年12月31日現在のものです。

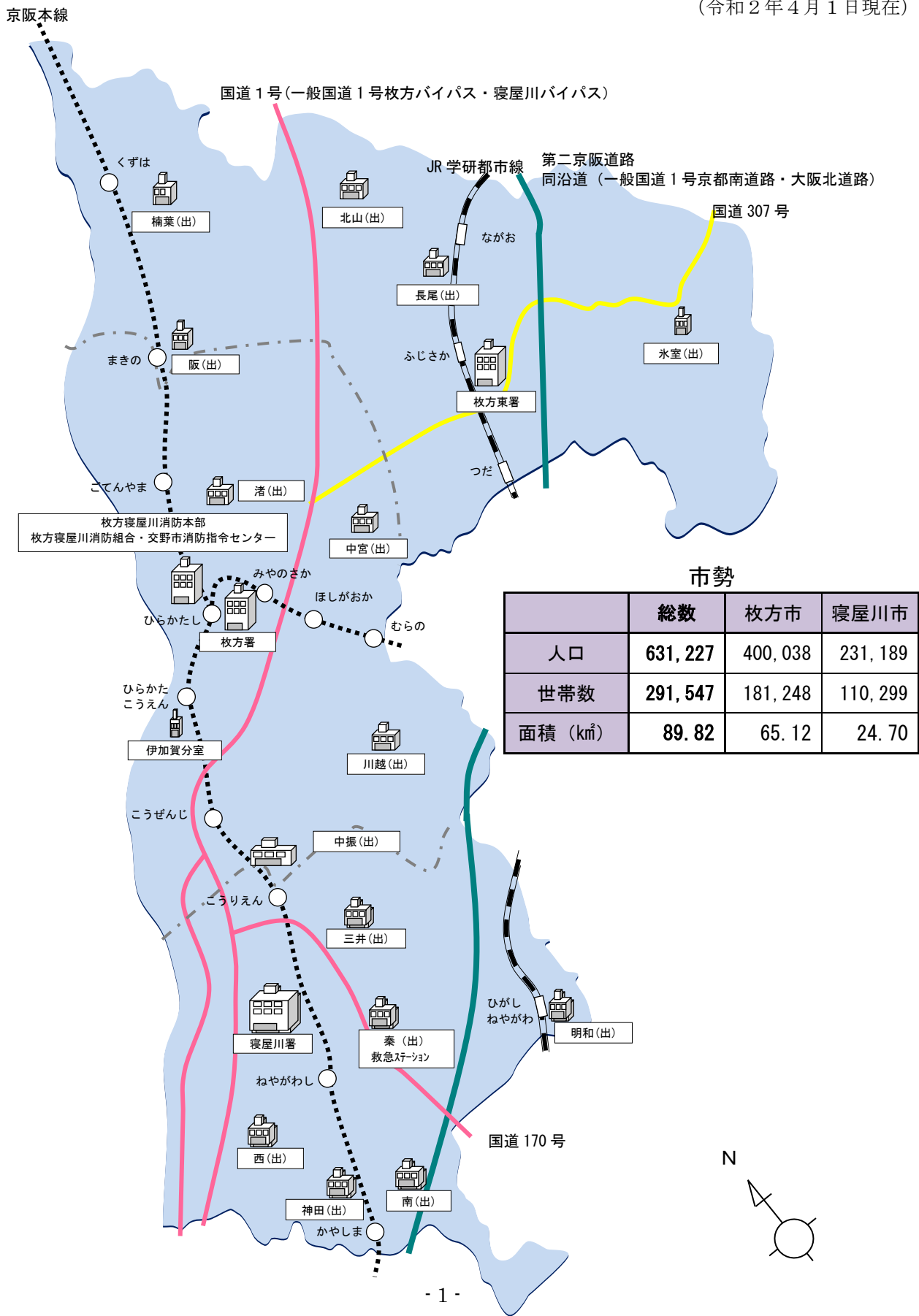
目

次

1 管内図及び市勢	1	12 警 備	13
2 組 織	2	(1) 消防隊の活動状況	
3 消防歳出予算	3	(2) 消防水利	
4 消防庁舎	4	13 火災概況	15
5 H31/R1年中の主な活動記録 . . .	5	(1) 火災概況	
6 消防職員	6	(2) 月別火災件数	
7 消防車両	7	(3) 死傷者・損害状況	
8 防火対象物	8	(4) 過去10年間の火災発生状況	
(1) 防火対象物		(5) 出火原因	
(2) 消防同意		14 救 急	18
9 危険物	10	(1) 救急件数の動向	
10 査 察	11	(2) 救急活動状況	
11 119番等通報	12	(3) 救命率の向上	
(1) 119番等通報受信状況		(4) 「救急安心センターおおさか」	
(2) 緊急通報システム		(5) ドクターカー事業	
		15 救 助	21
		16 消防団の概況	22

1 管内図及び市勢

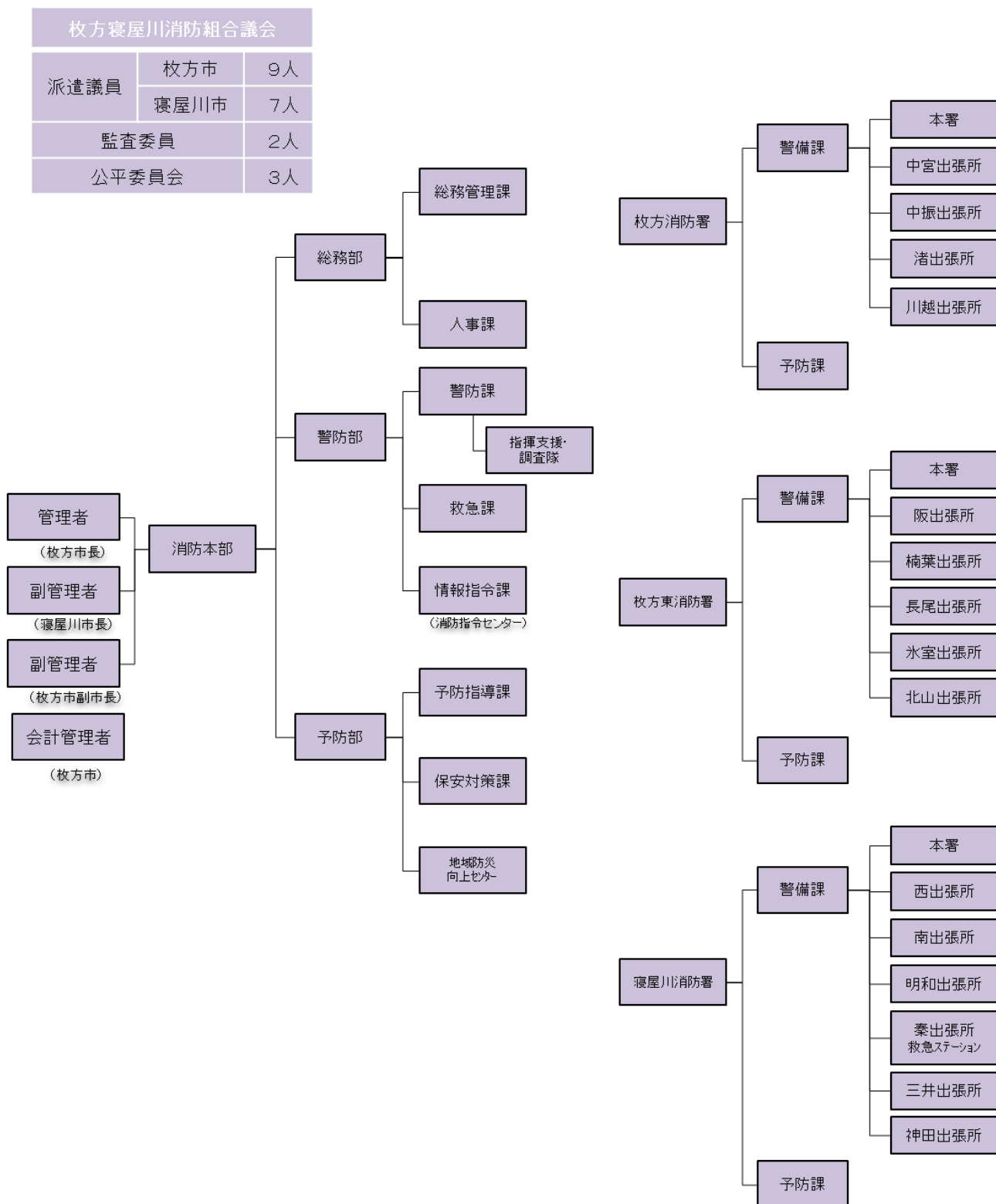
(令和2年4月1日現在)



2 組

織

(令和2年4月1日現在)



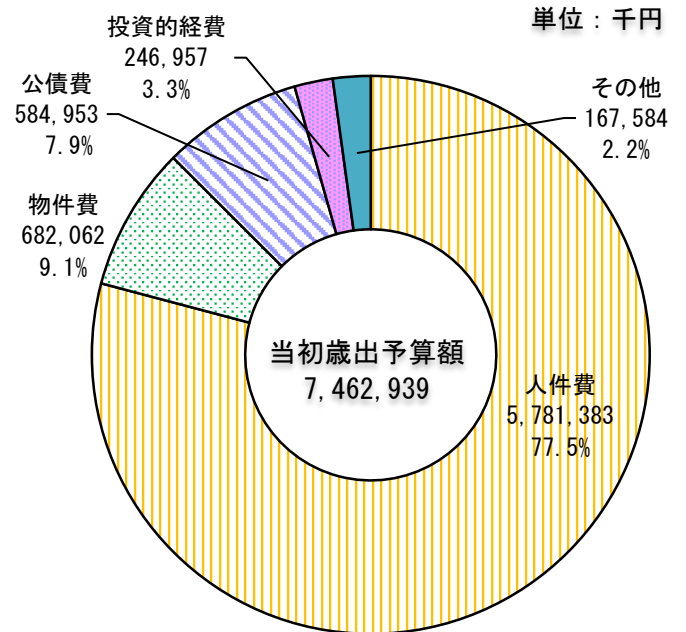
3 消 防 歳 出 予 算

令和2年度当初予算 74億6,293万9千円

令和2年度は第4次将来構想計画の最終年度となるため、これまでに取り組んできた事業の成果や課題に評価・検証を加えるとともに、「安全で安心して暮らせるまち」の実現に向け、次期将来構想計画に引き継ぐべき事業の検討、新たに必要事業の調査や研究を行い、市民の期待と信頼に応えていくための予算編成となっております。

また、大阪府北部地震や西日本豪雨など、近年多発する大規模災害に立ち向かうため、大規模災害対応資機材の強化整備や高圧ガス充填施設を更新することにより、消防署の防災拠点としての機能強化を図ります。

歳出予算性質別比率



《主要事業》

- ・ 高圧ガス充填施設の更新
- ・ 墜落制止用資機材の整備
- ・ 風水害及び震災対策資機材の強化整備
- ・ はしご車（楠葉）オーバーホール

過去5年間の消防組合歳出予算・決算額

区 分 年 度		歳出予算・決算額 (単位：千円)	左記の財源内訳 (単位：千円)			人口1人当たりの 消防費 (単位：円) (当初予算で算出) (毎年4月1日の人口)
			枚方市負担金	寝屋川市負担金	その他収入	
平成28年度	当 初	7,695,481	4,376,522	2,805,808	513,151	11,958
	決 算	7,394,572	4,197,206	2,691,462	505,904	
平成29年度	当 初	7,980,465	4,628,658	2,988,455	363,352	12,455
	決 算	7,788,340	4,481,923	2,895,804	487,610	
平成30年度	当 初	7,540,099	4,411,907	2,858,108	270,084	11,827
	決 算	7,397,469	4,327,790	2,803,475	266,204	
令和元年度	当 初	7,550,826	4,354,682	2,826,602	369,542	11,906
	決 算	—	—	—	—	
令和2年度	当 初	7,462,939	4,319,224	2,790,027	353,688	11,823

4 消 防 庁 舎

(令和2年4月1日現在)

区分 署所別	所在地（電話）	敷地面積（㎡）	構造・階数	建築面積 （㎡）	延面積 （㎡）	建築年月日
消防本部 枚方寝屋川消防組合 ・交野市消防指令 センター	〒573-1191 枚方市新町1丁目7番11号 Tel.072-852-9903（以下市外局番同じ） FAX852-9948（4階）、852-9925（2階）	1343.1	耐火造・地上5階	735.2	3038.6	平28.1.22
伊加賀分室	〒573-0056 枚方市桜町3番40号	365.8	耐火造・地上2階	216.1	351.7	昭56.12.14
枚方消防署	〒573-0027 枚方市大垣内町2丁目10番22号 Tel.072-852-9933、FAX852-9927	2099.5 別棟 ガレージ兼倉庫	耐火造・地上5階 耐火造・地上2階	587.0 235.6	2468.9 365.9	昭46.1.18 昭58.4.15
中宮出張所	〒573-0005 枚方市池之宮3丁目4番28号 Tel.852-9832、FAX852-9834	359.7	耐火造・地上2階	224.1	479.97	平29.3.15
中振出張所	〒573-0094 枚方市南中振1丁目16番30号 Tel.852-9826、FAX852-9828	727.2	耐火造・地上4階・ 地下1階	420.1	1250.5	平2.6.26
渚出張所	〒573-1175 枚方市上野3丁目8番2号 Tel.852-9829、FAX852-9831	700.0	耐火造・地上2階	418.7	791.3	平6.3.1
川越出張所	〒573-0083 枚方市茄子作北町7番22号 Tel.852-9820、FAX852-9822	477.2	耐火造・地上2階	197.3	388.3	昭53.4.1
枚方東消防署	〒573-0121 枚方市津田北町2丁目23番3号 Tel.852-9999、FAX852-9929	3255.6 主訓練塔 補助訓練塔 プールポンプ室	耐火造・地上4階 耐火造・地上8階 準耐火造・地上5階 耐火造・地上1階	636.9 36.4 26.1 16.1	1991.9 270.4 130.5 16.1	昭61.4.1 昭62.4.1 昭62.4.1 昭62.4.1
阪出張所	〒573-1144 枚方市牧野本町1丁目10番34号 Tel.852-9846、FAX852-9848	410.0	耐火造・地上2階	207.1	405.1	昭54.6.1
楠葉出張所	〒573-1118 枚方市楠葉並木2丁目29番1号 Tel.852-9849、FAX852-9851	支所の一部使用 (501.8)	耐火造・地上2階	290.3	497.9	昭50.5.6
長尾出張所	〒573-0163 枚方市長尾元町2丁目13番6号 Tel.852-9843、FAX852-9845	531.3	耐火造・地上2階	202.2	421.9	昭56.10.24
氷室出張所	〒573-0113 枚方市宗谷1丁目14番1号 Tel.852-9840、FAX852-9842	474.0	耐火造・地上2階	253.5	457.2	昭58.1.28
北山出張所	〒573-0171 枚方市北山1丁目67番15号 Tel.852-9824、FAX852-9825	1001.6	耐火造・地上2階	540.1	826.6	平13.4.1
寝屋川消防署	〒572-0039 寝屋川市池田2丁目11番73号 Tel.852-9966、FAX852-9928	3260.9 車庫	耐火造・地上4階 耐火造・地上1階	835.9 34.02	2352.6 34.02	昭46.1.18 平21.3.24
西出張所	〒572-0063 寝屋川市春日町20番22号 Tel.852-9860、FAX852-9862	306.6	耐火造・地上2階	170.6	346.9	昭56.5.1
南出張所	〒572-0823 寝屋川市下木田町16番17号 Tel.852-9866、FAX852-9868	421.2	耐火造・地上2階	235.1	426.6	昭54.7.2
明和出張所	〒572-0862 寝屋川市打上宮前町2番3号 Tel.852-9869、FAX852-9871	519.0	耐火造・地上4階	295.5	789.1	平9.3.22
秦出張所 救急ステーション	〒572-0848 寝屋川市秦町2番5号 Tel.852-9875、FAX852-9877	716.3	準耐火造・地上1階	239.2	237.5	平25.4.1
三井出張所	〒572-0019 寝屋川市三井南町25番2号 Tel.852-9872、FAX852-9874	683.5	耐火造・地上2階	294.0	444.0	昭50.5.23
神田出張所	〒572-0045 寝屋川市東神田町22番6号 Tel.852-9863、FAX852-9865	555.0	耐火造・地上2階	238.1	425.7	昭52.6.1

5 平成31年／令和元年中の主な活動記録

月 日	内 容	備 考
1 月 13 日	消防出初式	淀川公園枚方地区アクシアター周辺
1 月 15 日～21 日	防災とボランティア週間	
1 月 26 日	文化財防火デー	
2 月 25 日	第 1 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
2 月 26 日	定期監査（警防課、北山出張所、西出張所）	
3 月 1 日～7 日	春季火災予防運動	
3 月 7 日	消防記念日	
3 月 22 日	第 1 回消防組合議会定例会	本消防本部
4 月 9 日	第 156 回大阪府下消防長会総会	ヴィアーレ大阪
4 月 26 日	第 66 回全国消防長会近畿支部総会	ホテル・アコーラ・リーゾ・エンソー堺
5 月 10 日	全国消防長会会計監査	東京都
5 月 29 日	第 71 回全国消防長会総会	福岡県福岡市
6 月 3 日～9 日	危険物安全週間	
6 月 7 日	大阪府危険物安全大会	KKR HOTEL OSAKA
6 月 10 日	第 2 回消防組合議会定例会	本消防本部
7 月 9 日	第 2 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
7 月 18 日	枚方寝屋川消防組合防火委員会総会	本消防本部
7 月 20 日	第 48 回消防救助技術近畿地区指導会	兵庫県三木市
8 月 25 日	第 48 回全国消防救助技術大会	岡山県岡山市
9 月 1 日	第 63 回大阪府消防大会・消防操法訓練大会	大阪府立消防学校
9 月 26 日	大阪府下警防技術指導会に伴う本部大会	枚方東消防署
10 月 26 日、27 日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練	三重県松坂市
11 月 9 日～15 日	秋季火災予防運動	
11 月 12 日	第 68 回全国消防長会危険物委員会	兵庫県高砂市
11 月 14 日	第 3 回消防組合議会全員協議会	本消防本部
11 月 14 日	消防組合議員行政視察	京都市消防活動総合センター
11 月 21 日	全国消防長会役員会	石川県金沢市
11 月 26 日	第 7 回大阪府下警防技術指導会	大阪市消防局高度専門教育センター
12 月 1 日～19 日	歳末警戒	
12 月 16 日	第 157 回大阪府下消防長会臨時総会	ヴィアーレ大阪
12 月 20 日～31 日	歳末特別警戒	
12 月 24 日	第 3 回消防組合議会定例会	本消防本部
12 月 27 日	管理者訓示	本消防本部

6 消 防 職 員

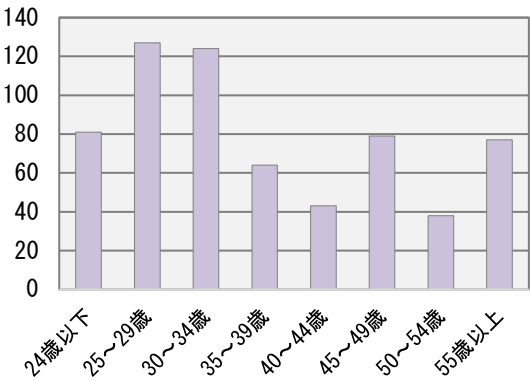
近年、消防を取り巻く環境は著しく変化し、市民の防災や安全に対するニーズもますます大きくなってきています。

我々、消防職員は、防災の担い手として一人ひとりが実務に精通し、幅広い知識と高度な技術、そして高い識見を持って、市民の負託に応えるために日夜、火災防ぎょ、救急、救助、予防、総務等の消防業務に取り組んでいます。

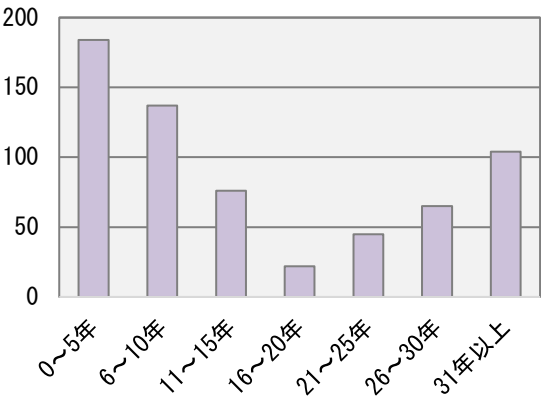
階級別職員数

総 数	消 防 吏 員								吏員以外 の職員	
	小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	小 計	事 務 員
635	633	1	6	31	92	148	176	1	178	2

年齢別職員数



勤続年数別職員数



所属区分別職員数

所 属 区 分				人数	
総 数				635	
消防本部	消防長			1	
	消防次長			1	
	総務部	部長		0	
		次長		1	
		総務管理課		9	
		人事課	人事課		10
			派遣		29
		総務部付派遣		1	
		警防部	部長		1
	次長		2		
	警防課		日勤	5	
			交替制	18	
	救急課		4		
	情指令報課		日勤	2	
			交替制	24	
	予防部	部長		1	
		次長		1	
		予防指導課		7	
		保安対策課		5	
		地域防災向上センター		0	
	小計			122	
枚方消防署	本署	日勤	13		
		交替制	47		
	中宮出張所		14		
	中振出張所		23		
	渚出張所		27		
	川越出張所		23		
	小計			147	
枚方東消防署	本署	日勤	13		
		交替制	48		
	阪出張所		23		
	楠葉出張所		28		
	長尾出張所		22		
	氷室出張所		15		
	北山出張所		23		
	小計			172	
寝屋川消防署	本署	日勤	13		
		交替制	51		
	西出張所		24		
	南出張所		23		
	明和出張所		24		
	秦出張所救急ステーション		9		
	三井出張所		26		
	神田出張所		24		
	小計			194	
勤務形態別		毎日勤務	119		
		交替制勤務	516		

※ 再任用職員を除く。

7 消 防 車 両

(令和2年4月1日現在)

	総 計	消 防 本 部	伊 加 賀 分 室	枚 方 消 防 署	中 宮 出 張 所	中 振 出 張 所	渚 出 張 所	川 越 出 張 所	枚 方 東 消 防 署	阪 出 張 所	楠 葉 出 張 所	長 尾 出 張 所	氷 室 出 張 所	北 山 出 張 所	寝 屋 川 消 防 署	西 出 張 所	南 出 張 所	明 和 出 張 所	救 急 ス テ ー シ ョ ン	秦 出 張 所	三 井 出 張 所	神 田 出 張 所
総 計	115	27	0	11	2	3	6	3	13	3	4	3	3	4	16	2	3	4	2	3	3	
CD－Ⅰ型 ポンプ車	17	－	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	－	1	1	
非 常 用 ポンプ車	6	－	－	1	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	1	－	－	－	1	－	－	
高 規 格 救 急 車	17	－	－	1	－	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
非 常 用 救 急 車	6	－	－	1	1	－	－	－	1	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	1	
救助工作車 Ⅲ 型	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
Ⅲ 型 化 学 車	2	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
38m級 梯 子 車	3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
15m級 梯 子 車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
遠距離大量 送排水車	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	
水 槽 車	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
可搬ポンプ 積 載 車	3	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指 揮 車	4	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
指揮支援車	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
調 査 車	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支 援 車 Ⅰ 型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
支 援 車 Ⅱ 型	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
非 常 用 救助工作車	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
そ の 他	43	20	－	4	－	1	1	1	5	1	1	－	－	1	6	－	1	1	－	－	－	

※ その他には、査察車、広報車、事務連絡車、地震車等が含まれます。

8 防 火 対 象 物

(1) 防火対象物

防火対象物とは、消防法第1条の目的を遂行するために、消防法に一定の基準を定め、特定防火対象物（不特定多数の者が出入する施設。例えば、百貨店・病院・ホテル等）と非特定防火対象物（特定の者しか出入しない施設。例えば、学校・事務所等）に大別され、それぞれの規模等により消防設備等（消火器・自動火災報知設備等）の設置や防火管理者が必要な建物です。

管内防火対象物の事業所数

市・署別 防火対象物区分			組合 合計	枚 方 市			寝屋川市
				市 計	枚 方 署	枚 方 東 署	寝 屋 川 署
総 数			16,081	9,636	5,426	4,210	6,445
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	7	6	6	-	1
	ロ	公会堂・集会場	356	226	119	107	130
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	0	0	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	60	39	34	5	21
	ハ	風営法に規定する店舗その他これに類するもの	0	0	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	3	2	2	-	1
3	イ	待合・料理店等	1	1	1	-	-
	ロ	飲食店	484	276	166	110	208
4		百貨店・マーケット等	560	335	164	171	225
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	57	45	8	37	12
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,137	3,695	2,283	1,412	2,442
6	イ	病院・診療所・助産所	243	153	88	65	90
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等	266	165	81	84	101
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等	422	242	123	119	180
	ニ	幼稚園・特別支援学校	57	39	16	23	18
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等	653	391	221	170	262
8		図書館・博物館・美術館等	6	5	4	1	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等	0	0	-	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	15	3	2	1	12
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	14	11	6	5	3
11		神社・寺院・教会等	181	115	58	57	66
12	イ	工場・作業場	1,272	726	275	451	546
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	385	231	165	66	154
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0	0	-	-	-
14		倉庫	874	507	227	280	367
15		前各項に該当しない事業所	1,614	1,031	592	439	583
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	1,431	856	475	381	575
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	964	521	307	214	443
16の2		地下街	0	0	-	-	-
16の3		準地下街	0	0	-	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等	17	15	3	12	2
18		延長50メートル以上のアーケード	2	0	-	-	2
19		市町村長の指定する山林	0	0	-	-	-
20		総務省令で定める舟車	0	0	-	-	-

(2) 消防同意

消防同意は、建築物の設計段階から防火面に関与し、必要に応じ現地調査を実施し、建築物の位置、構造及び設備のほか、防火に関する安全性の確保を図ることを目的としています。

平成 31 年／令和元年中の消防同意件数

市 別 区 分		総 数	防 火 対 象 物			一 般 住 宅 等		
			小 計	枚方市	寝屋川市	小 計	枚方市	寝屋川市
総 数		2,033	361	241	120	1,672	961	711
工 事 別	新 築	1,943	271	176	95	1,672	961	711
	増 築	80	80	59	21	0	－	－
	用途変更	4	4	3	1	0	－	－
	その他	6	6	3	3	0	－	－

※ その他には改築、修繕、移転、模様替等の件数が含まれます。

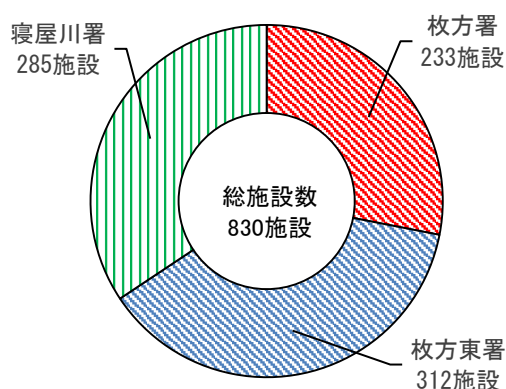
9 危 険 物

危険物規制事務は、主に危険物施設の許認可申請に係る事務とそれに伴う検査や各種届出事務及び危険物の取扱いに関する指導を行っています。

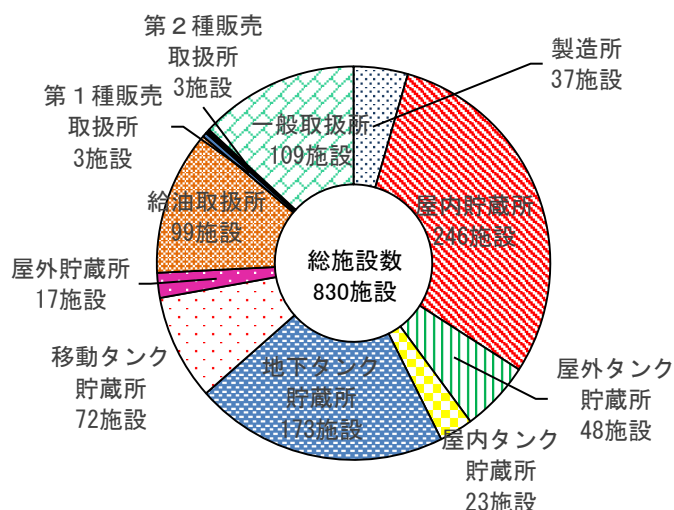
あらゆる生活分野に深く浸透している石油製品に代表されるように、危険物は現代社会生活に欠かすことのできない大きな貢献をしている反面、ひとたび取扱いを誤れば、火災や爆発等の甚大な災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

これらの危険物に起因する事故や災害を未然に防止し、市民生活の安全を確保するため、厳正な法令等の執行とともに、事業所の地域社会との協力関係の強化等を含めた自主保安管理体制の確立と関係者の防災意識の向上に努めることが重要です。

管轄署別施設数



区分別施設数



許認可事務処理状況

区 分 署 別	総 数	製造所等															仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		
		許 可		完成検査		仮 使用 承認 申請	完成 検査 前 検査	再 交 付 済 申請等	廃 止 届	譲 渡 引 渡 届	品 名 数量 又は 指定 数量 の 倍 数 変更 届	軽 微 な 変 更 届	選 任 ・ 解 任 届	危 険 物 保安 監督	予 防 規 程 認可 申請	作 業 従 事 者 届		危 険 物 取 扱 届	そ の 他
		設 置 許可	変 更 許可	設 置 許可	変 更 許可														
総 数	1,605	14	201	9	187	178	51	2	21	2	14	213	149	6	47	500	11		
枚 方 署	669	3	90	4	83	78	0	0	7	1	1	74	35	1	21	267	4		
枚 方 東 署	440	4	51	2	49	44	29	0	6	1	11	63	66	1	12	101	0		
寝 屋 川 署	496	7	60	3	55	56	22	2	8	0	2	76	48	4	14	132	7		

※ その他には、危険物製造所等の氏名、名称、住所変更届、危険物製造所等における火気使用工事届等の事務処理状況が含まれます。

査察とは、火災を未然に防止し、火災による被害の軽減を図るため、当該防火対象物及び危険物施設への立入検査を行い、火災予防上の不備事項を指摘し、関係者に対して必要な指示、指導を積極的に行うものです。

用途別査察実施状況

防火対象物区分			市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数				2,504	1,545	959
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場		1	1	-
	ロ	公会堂・集会場		61	32	29
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等		0	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール		11	6	5
	ハ	風営法に規定する店舗その他これらに類するもの		0	-	-
	ニ	カラオケボックス等		3	2	1
3	イ	待合・料理店等		0	-	-
	ロ	飲食店		86	54	32
4		百貨店・マーケット等		182	116	66
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの		9	6	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		631	458	173
6	イ	病院・診療所・助産所		75	45	30
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等		94	59	35
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム等		138	49	89
	ニ	幼稚園・特別支援学校等		11	6	5
7		小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校等		25	16	9
8		図書館・博物館・美術館等		2	2	-
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場等		0	-	-
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		4	1	3
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場		1	0	1
11		神社・寺院・教会等		33	25	8
12	イ	工場・作業場		222	112	110
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		0	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場		15	6	9
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫		0	-	-
14		倉庫		95	53	42
15		前各項に該当しない事業所		171	111	60
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物		451	281	170
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		174	98	76
16の2		地下街		0	-	-
16の3		準地下街		0	-	-
17		重要文化財・重要有形民俗文化財等		8	6	2
18		延長50メートル以上のアーケード		1	-	1
19		市町村町長の指定する山林		0	-	-
20		総務省令で定める舟車		0	-	-

危険物施設別査察実施状況

施設区分	市別	組合合計	枚方市	寝屋川市
総 数		277	177	100
製 造 所		7	3	4
貯 蔵 所		180	118	62
取 扱 所		90	56	34

11 1 1 9 番 等 通 報

(1) 119番通報受信状況

枚方市及び寝屋川市における総受信件数は61,085件（1日平均約167件）で、これは市民約10人に1人が119番等の通報をしたこととなります。

受信件数の内訳は火災通報242件（0.4%）、救急通報37,396件（61.2%）となっており両通報で全体の約66%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は3,735件（6.1%）で、引き続き、救急安心センターおおさか（＃7119）や大阪府救急医療情報センター（06-6693-1199）を活用し、119番通報での医療問い合わせを減らしていきたいと考えています。

また、いたずら・間違いなどの通報が5,133件（8.4%）もあり、実際の火災・救急通報の受信に支障を来すことも予想されることから、今後も、防火指導、救急講習等の広報活動を通じ「正しい119番の使用法」を啓発していく必要があります。

回線別の受信件数は固定電話の119番受信が24,131件（39.5%）で、携帯電話からの受信件数は27,322件（44.7%）となっています。

通報受信状況

内 訳 \ 種 別		合 計	内 訳		
			固 定 電 話	携 帯 電 話	左記以外※1
合 計		61,085	24,131	27,322	9,632
災害通報		38,606	17,021	18,060	3,525
	火 災 通 報	242	73	129	40
	救 急 通 報	37,396	16,753	17,536	3,107
	救 助 通 報	154	20	63	71
	そ の 他 通 報	814	175	332	307
問 合 せ		4,221	1,438	2,589	194
	火災・救急問合せ	486	130	193	163
	医療機関問合せ	3,735	1,308	2,396	31
そ の 他		18,258	5,672	6,673	5,913
	回 線 試 験	3,003	102	19	2,882
	転 送	644	21	615	8
	間 違 い	3,316	704	1,500	1,112
	悪 戯	1,817	749	1,023	45
	上 記 以 外 ※ 2	9,478	4,096	3,516	1,866

※1 加入電話、警察、転送、緊急通報等。

※2 緊急要請を必要としない内容、無言電話等。

(2) その他各種通報手段の状況

緊急通報システムからの通報は1,917件（3.1%）あり、聴覚障害者及び音声言語機能障害者の方々からのネット119（登録者数133人）からの通報は2件、eメール119（登録者数92人）による通報は0件で、緊急FAXからの通報は2件でした。

通報手段	件数	合計	枚方市	寝屋川市
緊急通報システム	設置件数	3,986	3,071	915
	通報件数	1,917	1,411	506
FAX119	通報件数	2	2	-
ネット119	設置件数	116	65	51
	通報件数	1	1	-
eメール119	設置件数	92	52	40
	通報件数	0	-	-

(1) 消防隊の活動状況

平成 31 年／令和元年中の消防隊等が活動した事故件数は 2,812 件、出動車両台数は 6,420 台でした。これは、1 日当りの平均災害発生件数が約 7.7 件で、1 件の災害に対して平均 2.2 台の消防車両が出動したことになります。

火災件数 167 件のうち、建物火災が 95 件と最も多く、火災出動件数の約 56.8%を占めています。

消防隊は、火災やその他の消防事故の災害現場にいち早く到着し、日頃の訓練で習得した技術や知識を十二分に発揮し、的確な消防活動を行うことにより、人命危険の排除及び被害の軽減を図っています。

消防隊の火災出動件数

火 災 件 数	火 災 出 動 件 数											
	放水別		事 後 聞 知	出 動 別					種 別			
	放 水	未 放 水		第 1 出 動	第 2 出 動	第 3 出 動	特 命 出 動	そ の 他 出 動	建 物	車 両	林 野	そ の 他
167	58	109	22	136	24	0	7	0	95	15	-	57

災害分類・種別活動状況

区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
総 数	2,812	6,420	23,409	4,495:37
火 災 小 計	167	996	3,417	1,160:13
建物火災	95	716	2,473	901:39
林野火災	-	-	-	-
車両火災	15	54	182	45:13
その他の火災	57	226	762	213:21
焼 損 事 故	47	261	860	170:44
そ の 他 消 防 事 故	2,598	5,163	19,132	3,164:40

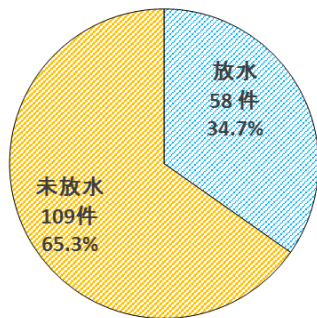
消防署別活動状況

区 分	事故件数	出動台数	出動人員	活動時間
枚 方 署	892	1,898	6,987	1,347:53
枚 方 東 署	776	1,814	6,605	1,252:6
寝 屋 川 署	1,139	2,684	9,748	1,880:19
管 轄 外	5	24	69	15:19

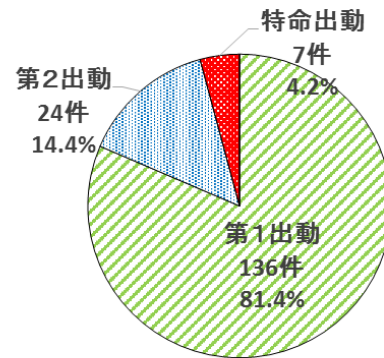
・活動時間については、出動から現場引き揚げ迄の時間です。

・活動隊については、救急隊を除く数字です。

放水件数比



出動件数比



(2) 消防水利

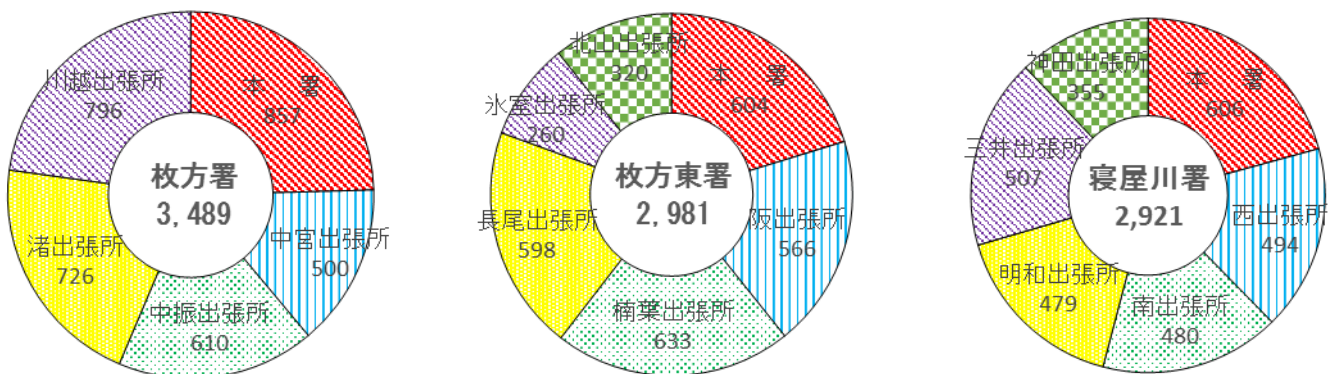
本消防組合管内の消防水利の大部分は、人工水利の消火栓(96%)が占めています。

消火栓は簡易に使用でき、連続的に給水しますが、水道配管路に設置されているため、配管口径による給水量の制約、断・減水時の使用不能等の弱点があります。これをカバーするために、開発行為の機会をとらえ、防火水槽の設置を要請するなど、消防水利の確保に努めています。

区分 署別	総 数	消火栓			防火水槽 (㎡)			その他の水利			
		小計	公設	私設	小計	公設	私設	小計	プール	河川池	その他
総 数	10,341	9,391	8,987	404	610	124	486	340	127	146	67
枚 方 署	3,814	3,489	3,340	149	238	31	207	94	46	13	35
枚 方 東 署	3,332	2,981	2,902	79	200	49	151	151	35	108	8
寝 屋 川 署	3,188	2,921	2,745	176	172	44	128	95	46	25	24

※ 防火水槽寸法（容量）が20㎡未満のものは含みません。

署所別の消火栓設置状況



13 火 災 概 況

(1) 火災概況

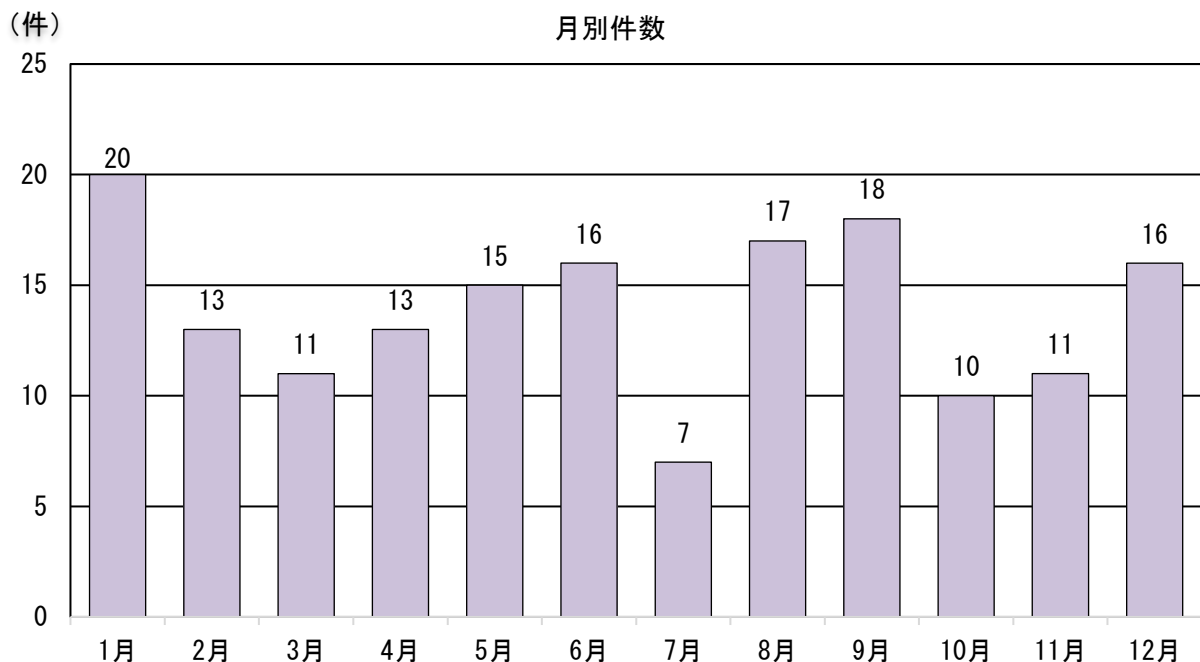
平成 31 年／令和元年中における火災件数は 167 件で、前年と比べ 18 件減少しています。

市別でみますと、枚方市は 100 件（枚方署 45 件・枚方東署 55 件）で前年より 11 件（9.9％）減少し、寝屋川市は 67 件で前年より 7 件（9.5％）減少しています。

区 分 署 別	火災種別（事後聞知含む）							焼損棟数					爆 発 棟 数	り災世帯数			
	火災 件数	うち 爆発	建 物	林 野	車 両	その他		合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		合 計	全 損	半 損	小 損
						枯 草 等	そ の 他										
総 数	167	0	95	0	15	20	37	115	9	7	12	87	0	92	17	8	67
枚 方 署	45	－	25	－	2	8	10	32	3	3	2	24	－	30	4	5	21
枚 方 東 署	55	－	31	－	7	4	13	37	3	2	1	31	－	24	3	－	21
寝 屋 川 署	67	－	39	－	6	8	14	46	3	2	9	32	－	38	10	3	25

(2) 月別火災件数

出火件数を月別でみますと、最多出火月は 1 月の 20 件（12.0％）、次いで 9 月の 18 件（10.8％）、8 月の 17 件（10.2％）と続いており、最少出火月は 7 月の 7 件（4.2％）となっています。



(3) 死傷者・損害状況

火災による死者数は、5人（枚方市2人、寝屋川市3人）で前年と同値となっています。

火災による負傷者数は、75人（枚方市19人、寝屋川市56人）で前年より30人（枚方市で6人減少、寝屋川市で36人増加）増加しています。

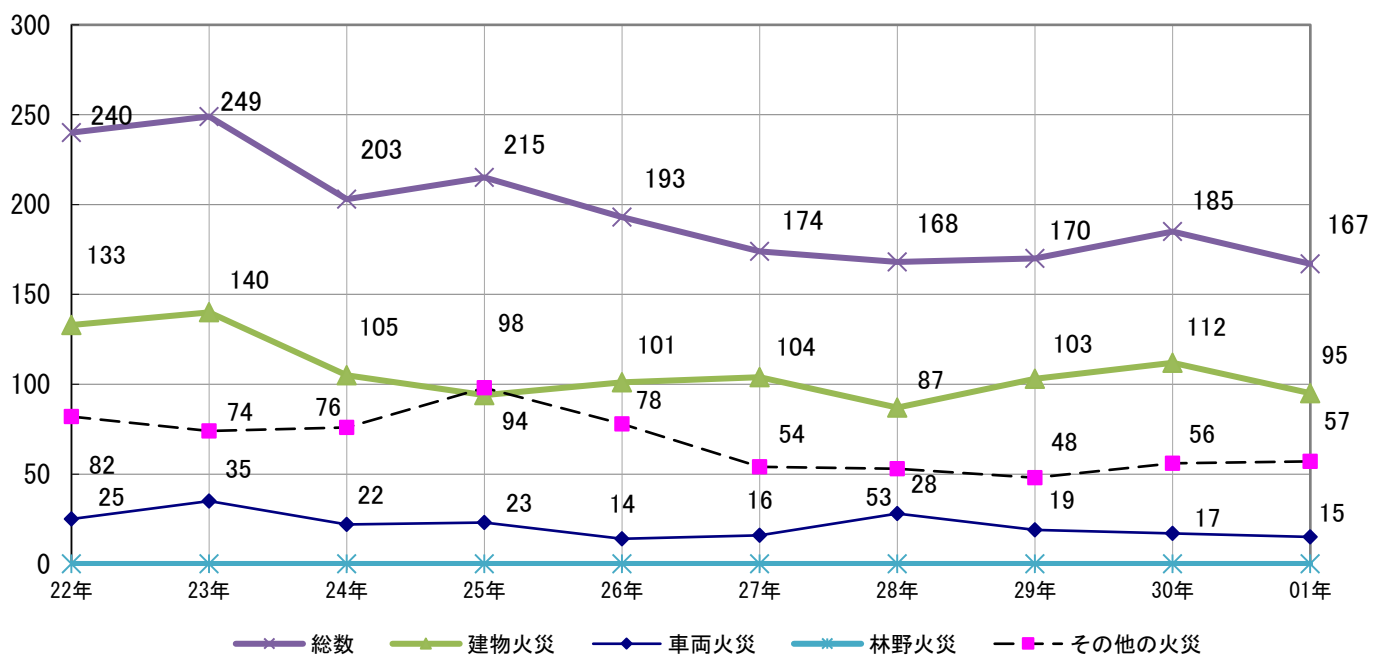
区分 署別	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 額 （千円）	焼損面積		1ヶ月当たり					
					建 物 床 （㎡）	林 野 （a）	火 災 件 数 （件）	（ 件 ） 建 物 火 災 件 数	焼 損 棟 数 （棟）	死 者 数 （人）	（ ㎡ ） 建 物 焼 損 床 面 積	損 害 額 （千円）
総 数	210	5	75	123,553	1,189	0.0	13.9	7.9	9.6	0.4	99.1	10,296.1
枚 方 署	72	2	12	34,697	396	－	3.7	2.1	2.7	0.2	33.0	2,891.4
枚 方 東 署	58	－	7	48,252	284	－	4.6	2.6	3.1	－	23.7	4,021.0
寝 屋 川 署	80	3	56	40,604	509	－	5.6	3.2	3.8	0.2	42.4	3,383.7

(4) 過去10年間の火災発生状況

過去10年間の本消防組合管内における火災件数は、平成21年の280件がピークで、ここ数年減少傾向にあります。

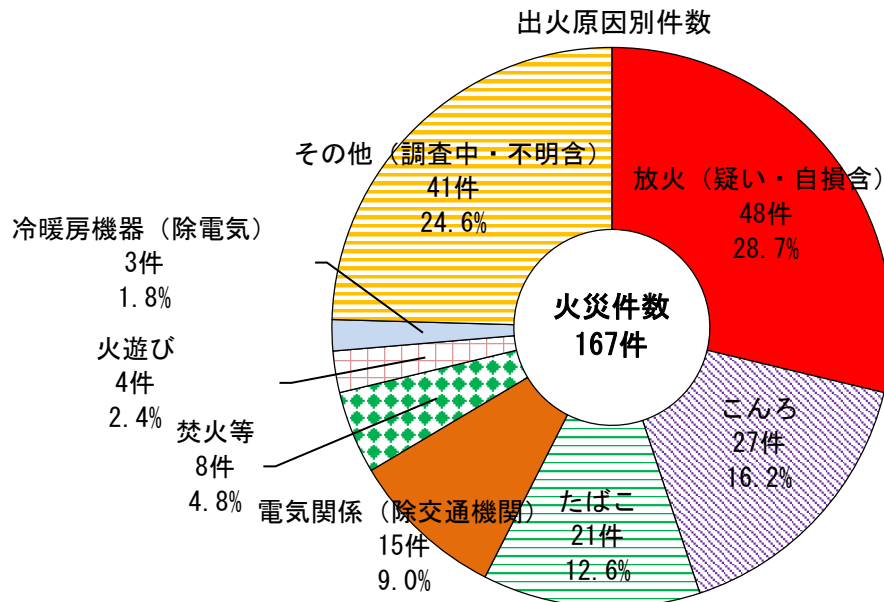
令和元年／平成31年の火災件数は167件（前年比18件減少）、内訳は建物火災件数95件（前年17件減少）、車両火災15件（前年比2件減少）、その他火災57件（前年比1件増加）となっています。

件数



(5) 出火原因

主な出火原因としては、「放火（疑い・自損含）」が 48 件（28.7%）、「こんろ」が 27 件（16.2%）、「たばこ」21 件（12.6%）、「電気関係（除交通機関）」が 15 件（9.0%）の順となっています。



原因 \ 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	31/01 年
総 数	240	249	203	215	193	174	168	170	185	167
放火（疑い・自損含）	93	90	79	89	74	55	43	35	40	48
電気関係（除交通機関）	19	18	10	15	18	17	22	27	26	15
た ば こ	26	23	22	27	17	26	18	26	20	21
こ ん ろ	24	27	22	23	20	22	16	20	24	27
焚 火 等	9	12	6	9	7	4	9	8	9	8
冷暖房機器（除電気）	3	7	5	7	5	6	5	3	5	3
火 遊 び	8	14	9	11	12	3	5	4	4	4
風 呂 か ま ど	1	-	-	2	1	-	-	1	1	-
その他（調査中・不明含）	57	58	50	32	39	41	50	46	56	41

※ その他には、静電気、衝突の火花、排気ダクト等が含まれます。

(1) 救急件数の動向

平成 31 年／令和元年中の救急出動件数は 37,927 件で、枚方市が 22,723 件、寝屋川市が 15,075 件、管轄外（第二京阪道路や交野市へのドクターカー出動）が 129 件となっています。過去 10 年間の出動件数及び搬送人員は、平成 22 年から右肩上がりに増加しており、令和元年は前年比 0.5%の増加でした。

人口に対する搬送者の比率は、昭和 43 年は 100 人に 1 人でしたが、令和元年は約 18 人に 1 人が救急車を利用したことになり、救急需要が高まっています。

過去 10 年間の出動件数の推移

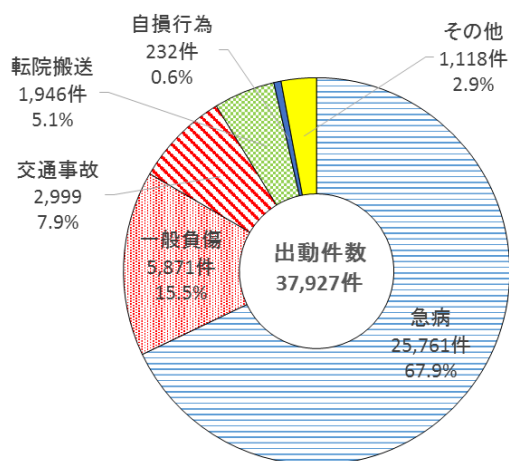
	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	31/01 年
総計	28,226	29,345	30,357	31,364	32,422	32,863	33,577	35,356	37,751	37,927
枚方市	16,880	17,492	18,080	18,688	19,193	19,669	20,159	21,105	22,513	22,723
寝屋川市	11,316	11,833	12,257	12,643	13,191	13,161	13,362	14,140	15,100	15,075
管轄外	30	20	20	33	38	33	56	111	138	129

(2) 救急活動状況

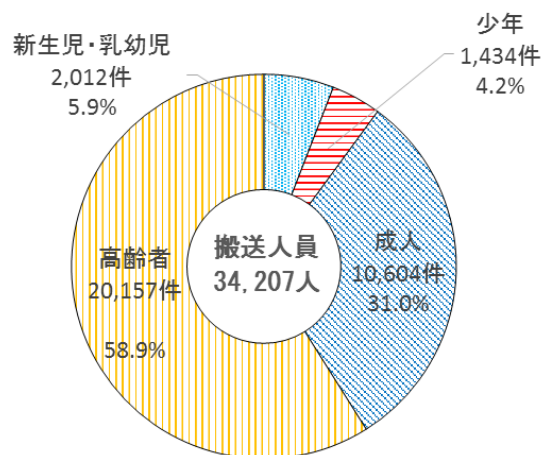
平成 31 年／令和元年中の救急活動状況をみると、出動件数 37,927 件・搬送人員 34,207 人で、前年に比べ出動件数が 176 件（0.47%）、搬送人員が 417 人（1.23%）増加しました。消防組合全体では、1 日平均約 106.5 件で、1 時間に 4.4 件の割合で出動したことになり、救急隊 1 隊あたりの 1 日の出動は平均して 6.3 件でした。

救急出動件数を事故種別ごとに見ると、第 1 位が急病、第 2 位が一般負傷、第 3 位が交通事故となっています。搬送人員を年齢区分別ごとにみると、高齢者が多く、全体の 58.9%を占めています。

事故種別活動状況



年齢区分別搬送人員状況



(3) 救命率の向上

平成 31 年／令和元年中の枚方寝屋川消防組合応急手当の普及啓発活動に関する要綱に基づく救命講習の実施回数は 239 回で受講者数が 10,643 人、うち、普及員が実施した人数は 5,225 人でした。

普及啓発用資器材の状況は、蘇生訓練用人形の成人用、小児用、乳児用及び A E D トレーナーを常備しており、応急手当の普及に寄与しています。その他、各署に高度救急処置シミュレーター等を整備し、指導技術の向上を図っています。

救命講習会実施回数及び受講者数（署別）

署別	区分	実施回数	対象人員
総 数		239 回	10,643 人
枚方署（本部含）		148 回	8,050 人
枚 方 東 署		33 回	837 人
寝 屋 川 署		58 回	1,756 人

上記のうち普及員実施分

署別	区分	実施回数	対象人員
総 数		241 回	5,225 人
枚方署（本部含）		83 回	2,091 人
枚 方 東 署		46 回	1,227 人
寝 屋 川 署		98 回	1,907 人

講習会別実施回数及び受講者数

講習会名	平成 31 年／令和元年	
PUSH～いのちの授業	74 回	6,449 人
普通救命講習会	43 回	1,068 人
救命入門コース	51 回	1,639 人
普及員講習会	4 回	99 人
普及員再講習会	5 回	137 人
上級救命講習会	2 回	53 人
応急手当指導員講習会	20 回	34 人

一般市民が救急車到着までに実施した主な応急処置数

	計	胸骨圧迫 心肺蘇生	止血	保温	除 細 動 (A E D)	そ の 他 ※
組合管内	258	126	41	20	8	63

※その他は、被覆、固定、人工呼吸等

(4) 「救急安心センターおおさか」

本消防組合では、大阪市の事業として平成 21 年 10 月から運用されている「救急安心センターおおさか」に平成 22 年 4 月から府下 13 消防本部とともに参画し、平成 23 年 4 からは府下全消防本部が参画しています。

	組合合計	枚方市	寝屋川市
救急車の必要があったもの	225	127	98
医 療 相 談	6,465	3,955	2,510
応 急 手 当 指 導	-	-	-
医 療 機 関 問 合 せ	5,728	3,274	2,454
苦 情	-	-	-
誤 接	-	-	-
い た ず ら	-	-	-
そ の 他	387	227	160
合 計	12,805	7,583	5,222

※ その他には、各種相談や問い合わせ等が含まれます。

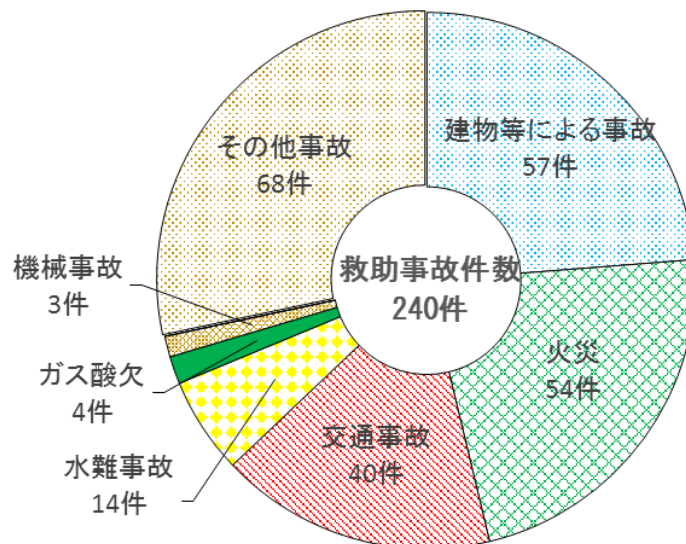
(5) ドクターカー事業

高齢化の急速な進展などにより、救急件数は増加傾向にあり、また、救急搬送で病院到着までに時間がかかる現状です。今後も高齢化が一段と進む中、救急出動件数は、更に増加することが予想されます。こうした背景に伴い、救急医療体制を一層充実させ、救命処置等を必要とする傷病者が発生した救急現場に一刻も早く医師が出場して医療行為を行うことにより、地域住民の救命率及び社会復帰率の向上並びに処置後の良好な改善を図ることを目的として、関西医科大学附属病院高度救命救急センターと連携し、平成 29 年 4 月からドクターカーの運用を実施しています。

	枚方市	寝屋川市	管外
ドクターカー出動件数	205	107	30

平成 31 年／令和元年中に救助隊が出動した事故件数は 240 件であり、前年と比較すると 96 件（28.6％）減少しています。また、救助人員は 134 人であり、前年と比較すると 56 人（29.5％）減少しています。

救助事故種別件数



救助人員内訳

総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	負傷無し
134 人	33 人	10 人	34 人	39 人	17 人	1 人

事故種別活動状況

区 分 市 別	総 数	火 災	救 助 事 故							
			交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス	破 裂	そ の 他
総 数	240	54	40	14	0	3	57	4	0	68
枚 方 市	139	24	25	5	－	3	38	3	－	41
寝 屋 川 市	94	30	10	7	－	－	19	1	－	27
管 外	7	－	5	2	－	－	－	－	－	－

16 消 防 団 の 概 況

区 分 市別・分団別		消 防 団 員								消 防 機 械			
		総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	総 数	ポン プ 車	小型動力ポン プ積載車	小型動力ポン プ
総 数		836	2	9	17	16	31	82	679	83	2	74	7
枚 方 市	小 計	454	1	6	11	11	31	49	345	51	1	43	7
	本部事務局	7	1	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	枚方分団	26	-	-	1	1	3	4	17	2	1	1	-
	蹠跚分団	32	-	-	1	1	3	4	23	4	-	4	-
	川越分団	38	-	-	1	1	3	4	29	4	-	4	-
	山田分団	40	-	-	1	1	3	7	28	7	-	7	-
	殿一分団	39	-	-	1	1	3	8	26	5	-	5	-
	殿二分団	52	-	-	1	1	3	6	41	4	-	4	-
	樟葉分団	37	-	-	1	1	3	4	28	4	-	4	-
	津田分団	60	-	-	1	1	3	4	51	6	-	4	2
	菅原分団	50	-	-	1	1	3	3	42	7	-	5	2
	氷室分団	52	-	-	1	1	3	3	44	6	-	3	3
	女性分団	21	-	-	1	1	1	2	16	1	-	1	-
寝 屋 川 市	小 計	378	1	4	7	7	0	33	326	32	1	31	0
	団本部	5	1	4	-	-	-	-	-	0	-	-	-
	第1南分団	55	-	-	1	1	-	6	47	6	-	6	-
	第1北分団	55	-	-	1	1	-	6	47	6	-	6	-
	第2分団	91	-	-	1	1	-	7	82	7	-	7	-
	第3分団	58	-	-	1	1	-	5	51	5	-	5	-
	第4分団	54	-	-	1	1	-	4	48	4	-	4	-
	第5分団	48	-	-	1	1	-	4	42	4	1	3	-
	女性分団	12	-	-	1	1	-	1	9	0	-	-	-

あなたに安心を届けたい！

枚方寝屋川消防組合ホームページ

<http://www.hnfd119.jp/>



住宅用火災警報器普及啓発
PRキャラクター「枚寝カンチ」

枚方寝屋川消防組合では、住宅火災での逃げ遅れによる死亡を無くすため、住宅用火災警報器設置促進と維持管理の普及啓発を推進しています。

各種イベントや防火教室等に「枚寝カンチ」が参加し、住宅用火災警報器の認知度の向上や点検方法、交換時期の周知に努めています。

ひらね 1 1 9

(令和 2 年 刊行)

発 行 枚方寝屋川消防組合消防本部

編 集 総 務 部 総 務 管 理 課

枚方市新町 1 丁目 7 番 11 号

0 7 2 (8 5 2) 9 9 0 3
